



東洋興産社屋

1954年(昭和29年)設立の東洋興産は、宮崎県都城市内を中心に約1,300世帯のエネルギーインフラを支える地域密着型企业。LPガス事業に軸足を置きつつ、燃料油配送や卸業の他、ガソリンスタンド、レンタカー事業も手掛けている。「和」を尊び、お客さまや仲間に寄り添える社員育成をモットーとし、地域に根差した気配りあるサービスを展開。信頼と実績を重ね、近々創業70年を迎える同社は、地元では欠かせない存在となっている。

突発的な人手不足、不安を解消

同社でガス事業に携わる従業員は現在6名。検針・配送・保安業務、機器メンテナンス全般をマルチにこなすが、病欠や退職等で欠員が出た場合、突発的な人手不足に陥ることも少なくなかった。そんな状況に日々危機感を抱いていたのが、取締役営業本部長の佐伯士郎さん。「特に検針業務は期日が決められた業務なので、肩代わりしなければならない従業員の負担が気がかりでした。LPWA導入による検針安定化の期待値は高かったです」。

補助金申請で導入したLPWAは500台。遠方地を中心に、外部業者も含め従業員総出で取り付けに走った。それが功を奏し、マンパワー頼みだった「検針業務」の自動化に成功、念願の省力化が実現した。手入力による誤検針がなくなり、検針業務にかかる移動時間も節約できたことで、保安教育や販売活動の時間に充てられるようになった。「検針作業の安定化で従業員の気持ちにも余裕が生まれたようで、年末年始やGWの長期休暇でも配送に集中できるようになって良かった、という声がありました」と佐伯さん。検針に伴う労務費、車両運搬費関連が抑えられ、月当たり約1.5万円のコストカットにもつながったという。



取締役営業本部長佐伯さん(左)と担当の松木さん

設置段階で判明した、意外な見落とし

LPWAを新規導入する際のアドバイスとして、「案内チラシ等を準備すべきだった点」を挙げる。当初はお客さまへの口頭説明のみであったが、途中から従業員の要望もあり効率的にご理解いただけるチラシを用いた周知に切り替えたという。

また、導入・設置を進める中で、従業員がスマートフォンの操作に慣れていなかったことが分かり、まさかの苦戦を強いられたという。「実績報告時に一定数の設置写真提出が義務。スマートフォンですれば良いと考えていましたが、中には撮影やメール送信等をしたことがないという従業員もおり、設置説明の前にスマートフォンの操作説明から始めることに。人によっては電話機能しか使わない場合もあるため、事前に確認しておくことをお勧めします」と力説する。



LPWA取り付けに関する案内文。説明文、写真を添付することで顧客とのコミュニケーションもやすくなったそう

今後の進展は機器メーカー担当者との連携がカギ

比較的スムーズに導入できた背景には、機器メーカー担当者の功績も大きい。機器の選定から講習、補助金申請書の作成といった準備段階から本格始動に至るまで、二人三脚でこなしてきたという。「困ったことはどんなことでも相談できる相手。担当者との良好な関係をしているか否かで、設置完了までの道のりも変わってくるかと思えます」。

目下の目標は、全顧客へLPWA機器を設置すること。その後は配送効率化や保安対策強化に着手する予定で、業務効率化というメリットもあるが、悩みや課題も尽きないという。LPWAシステムを効果的に利用するためにも、今後も機器メーカー担当者との連携がカギになると佐伯さんは語った。



自社の充てん所

LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ 会社名	トヨコウカンパニー		会社所在地	宮崎県都城市乙房町187-2		
	東洋興産株式会社		事業責任者名	佐伯士郎	役職名	取締役営業本部長
連絡先	部署名	営業統括部	電話番号	0986 - 37 - 2828	従業員数	36名
	担当者名	佐伯 士郎	ホームページ	http://www.toyokosan.co.jp/		
会社設立	西暦	1954年	11月	29日	顧客件数	1,370件 内家庭用 1,245件 業務用 125件
事業内容	1. LPG事業 2. 燃料卸・配送・ガソリンスタンド事業 3. レンタカー事業 4. 自動車売買					
会社の強み	1. 地域に支えられて創業70周年を迎える。 2. 和を大事にしてお客様、仲間に寄り添える社員 3. 知識、技術の向上や資格取得に挑戦する社員 4.					

LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安						
	<具体的活用方法> 遠方の自動検針を行っています。						
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> スタッフの病欠や退職の際に突発的に検針業務の引継ぎ業務が発生してしまうため、既存スタッフの負担を低減させたい。						
	<導入によって期待する効果> 検針を自動化することで空いた時間で保安教育や販売活動にあてる時間を作ることが出来る。						
導入費用	総金額	3,100,000 円		内補助金対象金額	3,100,000 円	補助金額	1,550,000 円
導入期間	補助金申請日	西暦	2022年	6月	9日	所要期間	7ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2023年	1月	26日	合計	3名 内社内 2名 内社外 1名

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	システムの管理画面にてお客様名が表示される事や端末のメンテナンスがしやすい事。
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 電波が悪い所はなかなか通信が上手くいかなかった事。
	<上記問題点を改善した方法> 端末設置場所を移動して設置しなおしました。
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	検針期間中にメンテナンス対応にすぐ向かえるようになった。
導入によって削減できた費用	検針に伴う労務時間、車両運搬費等で、月当り約1.5万円。
反省点	お客様への説明を設置当時は口頭でしていたが、案内文書を最初から作成しておけばよかった。

今後の拡張方針	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安
	<input type="checkbox"/> その他 ()

自己評価	5 大変だった 4 やや大変だった 3 普通 2 あまり大変ではなかった 1 大変ではなかった	作業項目	評価 (数字を入力)	評価5または4の具体的な理由
		●申請作業	3	普通
●仕様確定	3	普通		
●メーカー選定	4	やや大変だった	費用と特徴の違いを理解するのに時間がかかった。	
●事前周知	3	普通		
●設置工事	4	やや大変だった	取付、設定に慣れるまでが時間がかかった。	
●試運転	3	普通		
●その他 ()				
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等	社内から	ゴールデンウィークなどの休暇時に検針業務が逼迫しなくなって良かった。		
	業界・取引先などの社外から	便利になったと驚かれる方がいた。		
	お客さまから	自宅の電源は使っていないか心配される方がいて端末の中に電池が入っている事を説明した。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)	スマートフォンの準備。操作方法が不慣れな方に丁寧に説明を行い繰り返し練習をする事。			